

【投稿規定】

「東北物理教育」投稿規定(新)

2023 年 12 月 4 日

(1) 投稿の種別

研究、授業紹介、随想、研究開発、座談会、
大学・学部紹介、実験紹介、談話室、大学入試分析、面白い実験の話、物理クラブ
(生徒)の研究・報告、図書紹介、その他

(2) 執筆の要領

- ①A4 判(縦長)の用紙に、2 段組で横 22 文字、縦 42 行程度、マージンは上 23mm 下 25mm 左右 21mm の余白が出来るように作成して下さい。難しい場合は、段組なしでも結構です。文字サイズ等の詳細は、別に示す「原稿の様式」を参照して下さい。(2023 年 12 月投稿から原稿サイズを B5 判から A4 判に変更しております。様式のひな形は東北支部ホームページからダウンロードできます。)
- ②原稿は基本的にそのまま印刷しますが、編集担当が体裁を整えることがあります。
- ③原稿は投稿票と共に、電子データを CD、電子メール等でお送り下さい。
(投稿票は東北支部ホームページからダウンロードできます。)
- ④枚数に制限はありませんが、できるだけ 6 ページ程度に収めて下さい。
- ⑤割り付け: 投稿者が、図・表・写真を原稿に挿入できない場合は、その位置と大きさを決めて、原稿の中に指定して下さい。図・表・写真には、別々に一連の番号を付して、原稿ファイルとは別のデータファイルとしてお送り下さい。
- ⑥本文中に引用した文献は、上付の通し番号 1)2)を付した上で、一括して論文の末尾に、著者名・雑誌名・巻・号(年)・頁の順に示して下さい。
- ⑦カラー写真及びカラーページによる掲載を希望する場合は、編集委員会でカラーであることが適切であると認められた場合、その部分にかかる実費を負担いただくことで可能とします。

(3) 投稿原稿の著作権

- ①本誌に採録決定された論文等(以下、論文とする)の著作権は日本物理教育学会東北支部(以下、本支部とする)に帰属します。したがって、本支部ホームページへの論文の掲載等については本支部に権利があるとします。なお、本支部の他の出版物(支部通信等)に採録決定された論文についても同様の扱いとします。
- ②投稿に際しては、論文として採録された場合に、当該原稿の著作権が本支部に帰属することを著者全員が同意しているものとみなします。投稿者は、共著者全員に本投稿規定を示し、この点に関する了解を得た上で投稿して下さい。
- ③採録後の掲載論文について、著者自身による学術教育目的等での利用(著者自身による編集著作物への転載、掲載、WWW による公衆送信、複写して配布等を含む)を、本支部は無条件で許諾します。このとき、著者は本支部に許諾申請をする必要はありませんが、出典(論文誌名、巻号ページ、出版年)を記載しなければなりません。
- ④採録後の掲載論文について、著者の雇用機関による学術教育目的等での非営利利用(雇用機関の被雇用者の論文のみからなる論文集、紀要、本などへの掲載、WWW による公衆送信、複写して配布等を含む)を、本支部は無条件で許諾します。このとき、著者及び雇用機関は本支部に許諾申請をする必要はありませんが、出典(論文誌名、巻号ページ、出版年)を記載しなければなりません。ただし、営利目的の広告の場合等は許諾が必要です。

- ⑤「著者または雇用機関」以外の第三者の利用は、本支部への許諾申請が必要となり、営利目的と判断された場合は、課金することもあります。

(4) 原稿の提出先

事務局：宮城県仙台第二高等学校内 事務局 井上 清

電子メール：office.pesjtohoku@gmail.com

〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1 TEL:022-221-5626

申し合わせ：「東北物理教育」の特集テーマに関する取り扱いについて

以下のような例示の内容で特集を企画し、会員から投稿を募ることがあります。この場合、通常の編集委員ではなく、編集委員を座長にして、臨時に若手会員数名を募集し編集に当たってもらうことがあります。その他、支部通信に論文等を掲載する場を設けて、適当な時期に集大成するなどが考えられます。

【特集としてのテーマ例】

- ① 課題研究の実践例の紹介と調査
- ② 生徒・学生の理科離れ
- ③ どこが教えにくいのか
- ④ どんな時にそっぽを向くのか
- ⑤ 最先端の物理を易しく教える
- ⑥ 学習指導要領と物理教育
- ⑦ 高校・大学での制度・組織・運営見直しへの対応と物理教育など